

## 令和5年度 第2回 北浜中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年7月3日（月） 13:30 から 15:00
- 2 開催場所 北浜中学校 会議室
- 3 出席委員 古川員巳、柴田義久、大村 仁、藤本正俊、大岡成光  
齋藤千朝、波多信広、岡村洋子
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 欠席
- 6 学校支援コーディネーター 岡村洋子
- 7 教育委員会 欠席
- 8 学 校 岡田芳樹（校長）、松島 賢（教頭）、鈴木敬子（CSディレクター）
- 9 傍 聴 者 なし
- 10 会議録作成者 CSディレクター 鈴木敬子
- 11 議長の選出  
司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、古川会長から柴田委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。
- 12 報 告 事務局より
  - (1) 第1回学校運営協議会を受けて  
地域に関わりのある講師のリストを作成という提案について
  - (2) コミュニティ・スクール研修会について
- 13 協議事項
  - (1) 1学期学校評価について
  - (2) 学校行事について
- 14 会議記録  
熟議に先立ち、会長挨拶、校長挨拶を行った。
  - (1) 学校評価について、事務局松島教頭より説明があった。  
生徒は Googleforms、保護者はさくら連絡網、教員は校内ネットワークと紙面ではなくタブレット等でのアンケートになっている。  
今回の結果と昨年度の同時期の結果を比較すると、「そう思う」「だいたいそう思う」の率が項目によって上がっているもの下がっているものが見られる。中でも情報モラルの項目について、生徒も保護者もやや不安になっている傾向がある。また、「いじめもせず、いじめられてもいない。」の質問に対して「そう思わない」と答えている生徒がいる。  
委員からは、以下の発言があった。  
昨年と比較したポイントの上下で単純に分析はできないと思うがど

うか。（藤本委員）

→先週行ったばかりで、詳しい分析はこれからになる。結果について改めて報告するつもりである。（教頭）

→夏休みに職員で話し合うことになっている。（校長）

このデータだけでは話し合いが難しいのではないか。（柴田委員）  
現状を把握してほしいのか、これを熟議して変えたいのか。

（波多委員）

学校のHPで今の様子を見られるが、新しい様式は見にくくなった気がするがどうか。（大村委員）

→本校のブログは毎日のように更新している。ただ、市内全体を見ると担当者が変わったりするので、市内統一のフォームになった。

（校長）

担当者が頑張っている人から変わると難しい。SNSの事件が多くあり、拡散したりイイネをしたりでも責任を問われるようになった。

モラルに関してどこまで周知しているか。（大村委員）

→情報モラル講座を行っているが、保護者対象も行った方がよいと思う。学校と家庭の連携が必要になる。（校長）

市P連の研修会での講話がよかったので、保護者対象に行うとよい。生徒には年1回はしているのか。（波多委員）

→生徒対象は年1回行っている。（校長）

自分は学校のHPのブログはほぼ毎日チェックしている。周りに聞いても案外浸透していると思う。（波多委員）

PTA広報誌は発行されているか？（齋藤委員）

→保護者宛に3月にさくら連絡網を使って配信している。学校便りは地域に紙面で回覧している。（教頭）

生徒への質問の家庭学習について地域差があるのか。（大村委員）

→地域差はないと思うが、宿題と塾の時間のとらえ方の違いなど個人差がある。家に帰ってから何かに取り組んでいるかを見たい。質問内容についても検討していきたい。（校長）

学級担任からの投げかけ方でも違いが出てくる。一生懸命さがどれだけ伝わるか。改善するにはどうしたらよいか。学校運営協議会としても協力したい。（古川会長）

宿題はやらなければならないが、予習復習の仕方は教えているか。

（齋藤委員）

質問項目の予習復習は学校の授業のことか、それ以外か。

（大村委員）

→質問の内容を変えた方がよいかもしれない。(校長)  
先生方の働きかけ、取り組みによっても個人の違いが出てくると思う。(柴田委員)

質問は学校で作成したのか。(波多委員)

→学校で作成。経年変化を見たいのであまり変えていない。

(校長・教頭)

資源回収の量については、どの地区でも減っている。持ち込み方式を見直したらどうか。コンテナ方式など。今の住宅には貯めておく場所もないのでエコステーションや店舗に持って行ってしまうようである。(古川会長)

新聞を取っている家も少ない。(齋藤委員)

地域防災に中学生の参加が必要だが、名簿の公開ができない、自治会役員の数も限られているため、親に頼るしかない。興味のある子に参加してほしい。(柴田委員)

育成会の成り立ちが旧浜松と旧浜北では違うので地域との関わりが違ってきている。(大村委員)

→地域のまとまりが変化してきている。(校長)

地域の中学生在が地元と関われるようにしてほしい。(柴田委員)

小学校の授業の中に祭りを取り入れているところもある。

(大村委員)

子どもたちとふれあえる場所がほしい。(柴田委員)

現実的に過去の震災時にも中学生が活躍している。(古川会長)

コロナで3年訓練ができていない。(柴田委員)

以前は部活で参加できないこともあったが、近年はコロナで参加できなかった。(波多委員)

→地域防災訓練への参加は、子どもたちが地域のことを知る機会になる。中学生が地域のために何かをするために、地域とのつながりがほしい。(校長)

太鼓部のように地域で活躍するのがよい。(古川会長)

地域で新たに祭りをここから始める気持ちが必要。(柴田委員)

## (2) 学校行事について

虹色文化発表会、体育祭とも委員の皆さんに見ていただき来年度のよい方向性を探りたい。また、支援と協力をお願いしたい。

(教頭)

教育課程に目的と内容が合致しているかを見てほしい。意見をいただき、より良い行事にしていきたい。(校長)

## その他

- ・ 今後の予定

第3回運営協議会：令和5年11月6日（月）13:30～会議室

第4回運営協議会：令和6年2月16日（金）13:30～会議室